

## 令和元年度第1回秋田県入札制度適正化推進委員会の概要について

### 1 日時

令和元年7月22日（月） 午後1時30分から3時まで

### 2 場所

ルポールみずほ 「ねむ」

### 3 出席委員

石田英憲委員長、及川洋委員、千葉一明委員、鈴木有扶子委員及び清水洋一委員

### 4 議事

#### (1) 報告事項

##### 【①県発注工事に係る入札・契約手続の運用状況について】

委員 指名競争入札に付した三条川原地区での工事について、3度の入札不調を経て4度目の公告で契約に至ったとの報告があったが、4回の公告全てで条件を変えていたのか。

(※仙北地域振興局農林部発注 三条川原地区農地集積加速化基盤整備工事 05605-K06)

事務局 1度目及び2度目は条件付き一般競争入札で2者JVを要件とし公告したが、いずれも不調となった。3度目は指名競争入札に変更し、業者の入札参加形態を単体としたが応札者が1者であったため再度不調となった。4度目の公告で地域要件を施工箇所近隣から大仙市全域に拡大した結果、指名業者は25者となり、うち応札者が2者いたため落札に至った。

委員 発注要件を緩和し裾野を拡大したことで落札に至ったということか。

事務局 そうである。

委員 積算の変更による予定価格の変更は行っていないのか。

事務局 予定価格は公告の都度若干変更しているが、大幅な変更は行っていない。

##### 【②指名停止等の運用状況について】

特に意見なし。

## (2) 審議事項

### 抽出案件 1 (平鹿地域振興局農林部：栄東部地区農地集積加速化基盤整備工事 07704-K07)

委員 分離・分割方式により発注された工事は、いずれかの工事の落札候補者となった場合にその後の工事の入札参加資格がなくなるということか。

平鹿 そのとおりである。

委員 開札日同日に、平鹿管内の他地域でも同種工事が18件発注され、また、仙北管内でも同種工事の発注が相次いだとの説明があったが、同じ県南ブロックである雄勝地域についての記載がないのは何故か。

平鹿 雄勝地域における開札日同日の同種工事の発注件数はさほど多くなかったためにあえて記載をしなかった。一方、仙北地域における同種工事の発注件数はとても多かったため、引き合いに出すため記載したものである。

委員 資料を見ると、本工事以外にも北秋田地域振興局農林部発注の農地集積加速化基盤整備工事において1者入札かつ落札率が100%の工事があるが、この工事の内容は。

(※北秋田地域振興局農林部発注：上川沿地区農地集積加速化基盤整備工事 06004-K06)

事務局 本工事は大館市上川沿地区での暗渠排水工事である。本工事が公告された11月上旬は、他の県工事の発注件数が多いことに加え入札不調の発生件数も多い時期であったため、業者の手持ち工事に余裕がなく主任技術者の確保が困難であったために入札参加申請者が1者となったものと推察される。落札率が高かった要因については、前述のとおり技術者が不足している中で、業者が自社の採算の合う金額を見積りした結果、高い落札率になったものとする。なお、本工事は平鹿地域振興局の説明案件とは異なり、分離・分割方式による発注工事ではない。

委員 落札率が100%という数字は、私の感覚だと随意契約以外ではないという感覚であったが最近では条件付き一般競争入札においても目にするようになってきた印象がある。

委員 平鹿地域振興局の抽出案件について、施工箇所は現場が入り組んでいる等の理由により作業が困難であるとの説明であったが、予定価格の積算根拠となる「秋田県実施単価表」は、このような施工が困難な場所であっても同じ単価表を使用するのか。

平 鹿 同一の単価表を使っている。

委 員 施工場所に応じた単価の配慮は行わないのか。

平 鹿 行っていない。

委 員 施工条件の困難さを予定価格の積算に反映することで、入札不調の解消にもつながるのではないかと思う。単価表はどのくらいの頻度で見直しされているのか。

平 鹿 毎年の見直しに加え、随時更新も行っている。

委 員 単価表は業者への公表は行っているのか。

事 務 局 公表している。

委 員 本工事について、同日に平鹿管内で発注された同一工種の工事が18件に上るとの説明があったが、技術者の不足等が懸念されるのであれば、もう少し事前に発注のスケジュールを調整することはできなかったのかとも考えられる。同日に発注が集中した理由は。

委 員 他の地域でも農地集積加速化基盤整備工事を発注しているが、技術者不足と言われる中でなぜ発注が集中してしまったのか。

平 鹿 農地集積加速化基盤整備工事は、例年お盆前までには整地工事を終えて圃場部分の一部を農家に引き渡す必要があるが、雪解け後でなければ着工できないため工事時期の制約がある。また、地元からは雪解け後早急に着工してほしい旨の強い要望があることから、どうしても3月上旬に発注が集中してしまう傾向にある。また、前年度から事前に地元要望等に基づき対象地域を決定しているため、発注件数があらかじめ決まっていることから年度中に発注件数を減らすことが困難である。

委 員 発注が集中する傾向は今後も変わらないということか。

平 鹿 平成30年度の平鹿管内の農地集積加速化基盤整備工事の採択地区は6地区と過去最多であったが、今後徐々に発注件数は減少していくものと思われる。

委 員 分離・分割方式による発注を行った場合、開札順に決まりはあるのか。

平 鹿 予定価格の高い順に開札を行う。

**抽出案件 2（雄勝地域振興局建設部：地方道路交付金工事（橋梁補修）30-F158-12）**

委 員 応札額の差異の要因について、直接工事費ではあまり差がなく諸経費において企業努力により差が生じたということか。

雄 勝 そのとおりである。一般管理費で相当な差があった。

委 員 本工事の落札率は88.3%と今回の報告対象工事の中で最も低い落札率であるが、県工事における塗装工事の発注件数が少ないことを勘案すると、低い応札額でも落札したいという業者が存在するのは理解できる。

しかしながら、適正な価格で工事契約を行うよう政府からの通達がある中で、これに逆行するような姿勢はあまり好ましくないと思う。低い価格で落札した業者の従業員にしわ寄せが行くようなことがないよう、県でも動向を注視してほしい。

委 員 予定価格の設定にあたっては、3月以降に労務単価が改定され、最新の実勢価格を適正に反映させて積算を行うよう国より通知が行われているところであるが、社保など法定福利費の率も改定されている。本工事では、業者が見積内訳書において一般管理費等を削減したことにより低い落札率となったとの説明であるが、これは労務費等についても削減を行っているのか。

雄 勝 提出された見積内訳書によると、一般管理費の内訳までは記載されていないため、把握できていない。

委 員 本工事の入札結果を見ると「低入札調査基準価格 非該当」と表記されているがどうということか。

事 務 局 条件付き一般競争入札のうち総合評価落札方式では低入札価格調査制度を、それ以外の入札では最低制限価格制度を設けている。

委 員 最低制限価格と落札額が一致しているのはたまたまか。

事 務 局 最低制限価格は業者向けに提示していないが、それを算出するための計算式は提示しているため、業者が高い精度で見積書の積算を行えば、最低制限価格に近い金額を算出することは可能である。

委 員 業者に支払う労務費等にしわ寄せが行かないよう、最低制限価格の引き上げを検討する必要があると考える。

事務局 労務費に関しては、県の実施単価を昨年度から4%上昇させている。法定福利費は諸経費の中で適正な率で積算に反映されている。県内状況を注視し随時見直しを図っていく。

委員 本工事の落札者は由利本荘市の業者で、施工場所は湯沢市秋ノ宮の奥地ということだが、交通費等のコストを考えるともう少し現場に近い業者が落札しても良さそうだ。

雄勝 落札者への聞き取りによると、由利本荘市から現場までは十分に通勤可能な範囲であり、距離的な問題は少ないようである。工事の進捗も問題なく進んでいる。

委員 本工事は橋梁補修工事とのことだが、塗装のみか。

雄勝 塗装のみの工事となっている。